

長尾の里めぐり

花と緑と歴史のおりなす

長い尾根に沿った村からその名がつけられた長尾。市内でも有数の花と緑の名所、ロマンあふれる歴史と伝説の史跡がいっぱい。緑ヶ丘霊園のサクラ、等覚院のツツジ、妙楽寺のアジサイ、また、東高根に眠る弥生時代の集落跡、日本武尊や五所塚の伝説、鎌倉時代に栄えた幻の寺威光寺の旧跡など、訪れる人々の心に詩情をかきたててくれることでしょう。

妙楽寺

●所在地／多摩区長尾3-9-3
●行き方／市営東急バス「長尾」下車徒歩10分

平安初期(851~4)に建立された長尾山威光寺の旧跡といわれています。源氏の代々の祈願寺として栄え、頼朝の弟全成(通称今若丸)が住職になったことがあります。境内には約1000本のアジサイが梅雨どきの彩りをひときわ鮮やかに咲き誇ります。(アジサイ寺と呼ばれる)



等覚院

●所在地／宮前区神木本町1-8-1
●行き方／市営東急バス「神木不動」下車3分

やまとたけるのみこと

日本武尊が東夷征伐のおり、この地で霊水を得て渴きをいやし、その記念に1本の木を植え、代々その木を神木と崇め、後に当寺の本尊不動明王を彫ったと伝えられています。境内に数百株のツツジが群生し5月初めに色とりどりに咲き、荘厳な山門が訪れる人々を迎え入れてくれます。(ツツジ寺と呼ばれる)



県立東高根 森林公園

●問合せ／県川崎治水事務所
☎932-7211

県指定天然記念物のシラカシが自然林に近い形で残され、湿生植物園や野外研究園路、ピクニック広場などがあります。芝生広場の下には弥生時代後期(3世紀頃)から古墳時代後期(8世紀頃)にかけての集落跡が眠っています。



二ヶ領用水

慶長16年(1611年)に竣工した南関東最古の農業用水です。徳川家康の命を受けた用水奉行の小泉次大夫が、地域農民の協力を得て、14年の歳月を要して完成したものです。

今は農業用水としての役割を終え、環境用水として保全されており、市民の憩いの場となっています。このあたりは桜並木が見事で、春にはさくら祭りが毎年行われています。



川崎市緑化センター

●所在地／多摩区宿河原6-14-1
●行き方／JR南武線「宿河原」駅から徒歩7分 ●問合せ／☎911-2177

無料 月曜日休み ●開園時間／3月~10月 午前9時~午後4時30分
11月~2月 午前9時~午後4時

昭和54年8月「緑の相談所」として開園。園内には噴水、水車、芝生広場、見本庭園、野草のこみちなどが整備されています。また、講習会や展示会を催しています。



まちなちの樹

クスノキ(白幡八幡大神)

●高さ：10~30m ●花期：5~6月

シダレザクラ(生田緑地)

●花期：4月

